

平成26年度 第1回 移動性(モビリティ)向上委員会 議事要旨

開催日時：平成26年8月26日(火) 10:00~11:30

開催場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害対策本部室

○議事

(1) 渋滞対策の進め方について

- ・これまでの委員会の検討経緯
- ・対策検討の進め方
- ・渋滞対策の進捗状況確認
- ・対策箇所の効果確認(フォローアップ)
- ・最新の交通状況による分析(モニタリング結果)
- ・優先対策箇所の選定方法・考え方・渋滞要因の分析
- ・「道路を賢く使う」観点から対策可能な渋滞対策
- ・埼玉中央地域渋滞ボトルネック検討WGの進捗報告

(2) 意見交換

○議事要旨

(1) 渋滞対策の進め方について

- ・渋滞対策の進め方について了承された。

(2) 意見交換

- ・今後の人口減少及び高齢者の免許返納、最近の燃料高騰等により、今後は交通量が減っていくことが予想される。そのような状況も踏まえて渋滞対策が無駄とならないようにする必要がある。
- ・今後、圏央道、中央環状品川線、上尾道路等の供用に伴い交通流の変化が予測されるため、これまでのような渋滞発生後の対処ではなく、事前に渋滞を防ぐという観点での対策があってもよいのではないか。
- ・NEXCOでは渋滞予測の情報などを提供しており、利用者に道路を賢く使ってもらう施策も重要と考えられる。
- ・今後は工業団地の増加が予想されるため、工業団地単位での車の相乗りやフレックスタイムの導入等、ピーク時間への交通需要を減らす対策があってもよいのではないか。
- ・東京オリンピックや大型商業施設の立地等による交通流の変化も考慮した対策や対策優先順位の検討が必要ではないか。
- ・沿道施設への出入り車両の影響により道路の交通容量が低下しているケースがあるため、沿道施設へ出入りする専用車線を設置する対策も考えられる。
- ・渋滞の発生要因を十分に分析し、各箇所の特徴に合わせた対策を検討することが重要である。

以上